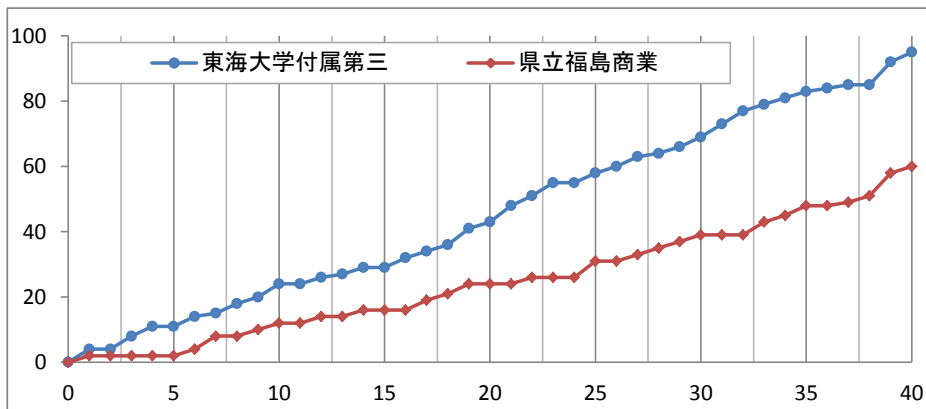


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦 東海大学付属第三 95 (長野) ○ 60 県立福島商業 (福島) ●

主審 谷古宇 孝
副審 佐々木 正洋

No. 29f2 日時: 2013年7月29日(月) 11:10 会場: 大分県立総合体育館



東海大学付属第三

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 井上 諒汰 (C)	17	0	6	5	0
5	* 宮尾 和輝	6	0	3	0	2
6	佐藤 涼	4	0	2	0	3
7	* 葛西 汰一	19	4	2	3	2
8	* 高間 龍之介	16	0	7	2	2
9	山梨 歩	9	2	1	1	3
10	* 鶴田 美勇士	13	0	4	5	1
11	村井 宏行	2	0	1	0	0
12	中津 宏哉	1	0	0	1	2
13	笹倉 怜寿	3	0	1	1	0
14	石井 聖大	3	0	1	1	1
15	滝野 隼也	2	0	1	0	0
コーチ	入野 貴幸					
合計		95	6	29	19	16

県立福島商業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 菅野 蒼 (C)	7	0	2	3	5
5	* 菅野 凪	13	0	6	1	5
6	* 佐藤 結昨	4	0	1	2	1
7	高石 雄史	-	-	-	-	-
8	塩澤 慧	-	-	-	-	-
9	* 佐伯 友也	17	3	4	0	1
10	石井 和弦	-	-	-	-	-
11	菅野 瑞稀	0	0	0	0	0
12	齋藤 航	-	-	-	-	-
13	鈴木 睦己	4	0	2	0	0
14	安齊 友吾	0	0	0	0	5
15	* 大塚 恭平	15	0	7	1	4
コーチ	岩倉 徹					
合計		60	3	22	7	21

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド、東海大三オールコートマンツーマン、福島商業ハーフマンツーマンでスタート。東海大三は#4フリースローで初の得点、対する福島商業は#5のゴールで応戦するも#5、東海大三は#4の連続ゴールで突き放しにかかる。福島商業はタイムアウトで流れを切りにかかると、東海大三は#10#8の連続ゴール、#7の3Pで得点を重ねる。福島商業は、#9、#15、#4のゴールで応戦するも、執拗なDefと着実に得点を重ねた東海大三が24-12とリードして第1ピリオドを終了。第2ピリオドは互いにノーゴールの時間帯が続く。第1ピリオドに続き東海大三が#7#10のゴールで得点するも、福島商業も#15のリバウンドからのゴール下のショットで対抗するもタイムアウト請求。その後も東海大三のペースは変わらず#8#6#8のゴールに続き、#7の3Pと得点する。対する福島商業は、#9の3P#15の連続ゴールで点差を縮めるも43-24と東海大三リードで前半を終了する。

第3ピリオドは東海大三のスローインでゲーム開始。福島商業は2-3のゾーンで東海大三の勢いを止めにかかる。しかし、#7の3P、#8のゴールで流れをつくろうとするが、福島商業は#5のレイアップショットで対抗。東海大三は、#7の3P、#5のゴール、#10のフリースローで得点し引き離しにかかる。一進一退の攻防が続くが、#6、#8の連続ゴールで点差を広げ、69-39の東海大三のリードで第3ピリオドを終る。第4ピリオドは東海大三#4のゴールで始まる。東海大三はさらに#5#14#8の連続ゴールで第3ピリオドの勢いを継続する。福島商業はマンツーマンDefで対抗し、互角の攻防に持ち込む。東海大三は#4、#14、#11と得点を重ねるも、福島商業も#5、#4のゴールや#6のフリースローで得点し粘りを見せる。双方メンバーが変わる中福島商業#9のショットでタイムアップ。95-60で終始リバウンドを制した東海大三が勝利した。

© 2013 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a

記事者 岡本 芳明 (所属) 大分県バスケットボール協会